

## 2023年実施 北海道・札幌市 教養検査

【1】 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

SDGsとは、2001年に策定された 1 の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり、 2 ことを誓っている。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| ア 1ーパリ協定       | 2ー「心のバリアフリー」を体現する |
| イ 1ーミレニアム開発目標  | 2ー「心のバリアフリー」を体現する |
| ウ 1ーモントリオール議定書 | 2ー地球上の「誰一人取り残さない」 |
| エ 1ーパリ協定       | 2ー地球上の「誰一人取り残さない」 |
| オ 1ーミレニアム開発目標  | 2ー地球上の「誰一人取り残さない」 |

問2 下線部に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 日本は2016年に策定した「SDGs実施指針」を2019年に改定し、日本として特に注力すべき優先課題と主要原則を改めて提示した。
- ② 社会、経済、環境の3側面から捉えることのできる8のゴールと21のターゲットから構成され、すべての国において取り組むことが望ましいとされている。
- ③ すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進することをゴールの一つとしている。
- ④ 世界の消費と生産における資源効率を改善するため、先進国の経済成長を抑制することをゴールの一つとしている。
- ⑤ ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化（エンパワーメント）を行うことをゴールの一つとしている。

- ア ①②③    イ ①③⑤    ウ ①④⑤    エ ②③④    オ ②④⑤

**【2】次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。**

子どもから大人になるプロセスにある十代は、その人が他者とコミュニケーションを取り交わす作法を学び取る大切な時期です。私たちは他者である相手と言葉を交わすことによって、情報内容の伝達だけではなく、思いや感情といった情緒的側面の交感をも重ねます。そうしたコミュニケーションの過程のなかで、自分から相手をまなざすと同時に、相手から自分に向けられるまなざしを受け止めながら、〈いま・ここ〉の自分のあり方を振り返り、とらえ直す作法を学び取ります。

しかしこれから検討していく言葉群、私が「コミュニケーション阻害語」と名づけた一連の言葉は、そうした自分と相手の双方向のまなざしが自分自身のなかで交差することを、著しく阻害する危険性があると思うのです。自分から相手を一方的にまなざすばかりで、相手からのまなざしをカイとしてしまう道具としての性格を、こうした言葉はいつのまにか帯びてしまっているというのが、私の考えです。

もちろん私は、「こうした言葉を用いることを一律に禁止せよ」、とっているわけではありません。大人になって、状況判断や相手との間合いの取り方などに長けてくれば、時と場合によっては、冗談半分で使うこともあるでしょう。でも他者とのコミュニケーションの作法をこれから学び取り、状況に応じた相手との距離の感覚やきちんとした向き合い方を身につけていかなければならない十代の若者たちにとって、これから取り上げる言葉群は、異質な他者ときちんと向き合うことから自分を遠ざける、いわば〈逃げのアイテム〉としての機能をもち、そうした言葉を多用することによって、知らず知らずのうちに他者が帯びる異質性に最初から背を向けてしまうような身体性を作ってしまう危険性があることを、私は指摘したいと思うのです。

阻害語の代表的なものが、「ムカツク」と「うざい」という二つの言葉です。

この言葉は、このところ若者を中心にあつという間に定着してしまった感のある言葉です。「ムカツク」とか「うざい」というのはどういう言葉かということ、自分の中に少しでも不快感が生じたときに、そうした感情をすぐに言語化できる、非常に便利な言語的ツールなのです。

つまり、自分にとって少しでも異質だと感じたり、これは苦い感じだなと思ったときに、すぐさま「おれは不快だ」と表現して、異質なものと折り合おうとする意欲を即座に遮断してしまう言葉です。しかもそれは他者に対しての攻撃の言葉としても使えます。「おれはこいつが気に入らない、嫌いだ」ということを根拠もなく感情のままに言えるということです。ふつうは、「嫌いだ」と言うときには、「こういう理由で」という根拠を添えなければなりません、が、「うざい」の一言で済んでしまうわけです。自分にとって異質なものに対して端的な拒否をすぐ表明できる、安易で便利な言語的ツールなわけですね。

だから人とのつながりを少しずつ丁寧に築こうと思ったとき、これらの言葉はなおさら非常に問題を孕んだ言葉になるのです。

どんなに身近にいても、他者との関係というものはいつも百パーセントうまくいくものではありません。

ません。関係を構築していく中で、常にいろいろな阻害要因が発生します。他者は自分とは異質なもののですから、当然です。じっくり話せば理解し合えたとしても、すぐには気持ちが伝わらないということもあります。そうした他者との関係の中にある異質性を、ちょっと我慢して自分の中になじませる努力を最初から放棄しているわけです。

つまり「うざい」とか「ムカツク」と口に出したとたんに、これまで私が幸福を築くうえで大切だと述べてきた、異質性を受け入れた形での親密性、親しさの形成、親しさを作り上げていくという可能性は、ほとんど根こそぎゼロになってしまうのです。これではコミュニケーション能力が高まっていくはずがありません。

もっとも、流行語になるずっと以前から、「むかつく」とか、「うざったい」という言葉はありました。でもあまり日常語として頻繁に現れるということはありませんでした。なぜかといえば、現在の状況のように、すぐに「ムカツク」とか「うぜー」と表現することを許すような、場の雰囲気というものがなかったのです。でも今はあります。

(菅野仁『友だち幻想 人と人の〈つながり〉を考える』より)

**問1 下線部「カイヒ」の「カイ」と同じ漢字を含むものの組合せを選びなさい。**

- ① 成功する可能性はカймだ
- ② この建物はトウカイの恐れがある
- ③ キシカイセイの一手をうつ
- ④ 友人からの依頼をカイダクする
- ⑤ 前言をテッカイする

ア ①②    イ ①④    ウ ②③    エ ③⑤    オ ④⑤

**問2 この文章の内容として、適切なものの組合せを選びなさい。**

- ① 他者と言葉を交わすことによって、情報内容の伝達だけでなく、思いや感情といった情緒的側面を読み取る過程は、十代の時期にしかないものである。
- ② 筆者が「コミュニケーション阻害語」とよぶ、「ムカツク」「うざい」という言葉には、他者との適切な距離感覚や向き合い方を身につけることが妨げられる危険性がある。
- ③ 「コミュニケーション阻害語」は親密性、親しさの形成、親しさを作り上げていく上で、非常に便利な言語的ツールである。
- ④ 「コミュニケーション阻害語」は、他者との関係の中にある異質性を自分の中になじませる努力を最初から放棄し、不快感をすぐに表現できる言葉である。
- ⑤ 以前は、すぐに「ムカツク」とか「うぜー」と表現することを許すような、場の雰囲気というものがあった。

ア ①②③    イ ①③④    ウ ①④⑤    エ ②③⑤    オ ②④⑤

【3】 次のデータは、5店舗で調査して得られた、ある商品の価格である。問1、問2に答えなさい。  
ただし、 $x$ は自然数とする。

980, 1000, 1050, 990,  $x$  (円)

問1 このデータの平均値が1008円であるとき、 $x$ の値として、正しいものを選びなさい。

ア 970    イ 980    ウ 1000    エ 1010    オ 1020

問2 このデータの中央値は、 $x$ の値によって何通り考えられるか、正しいものを選びなさい。

ア 3通り    イ 6通り    ウ 9通り    エ 11通り    オ 13通り

【4】 次の年表を見て、問1、問2に答えなさい。

|       |                                                |
|-------|------------------------------------------------|
| 1192年 | 源頼朝が朝廷から征夷大將軍に任じられる                            |
| 1221年 | 承久の乱にて <input type="text" value="1"/> が幕府軍に敗れる |
| 1232年 | 執権の <input type="text" value="2"/> が御成敗式目を制定する |
| 1274年 | 元軍が九州北部に押し寄せ、幕府軍との戦いとなる                        |
| 1333年 | 鎌倉幕府が滅びる                                       |

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

ア 1ー後白河上皇    2ー北条泰時  
イ 1ー後鳥羽上皇    2ー北条時宗  
ウ 1ー後鳥羽上皇    2ー北条泰時  
エ 1ー後醍醐天皇    2ー北条時宗  
オ 1ー後醍醐天皇    2ー北条泰時

問2 年表に示された期間（1192年～1333年）に起きたできごととして適切なものの組合せを選びなさい。

- ① イタリア人のマルコ＝ポーロがユーラシアを旅し、その後、旅行記を口述した。
- ② 宋から帰国した道元が、越前（福井県）に永平寺を建立し、禅の普及に努めた。
- ③ 唐の皇帝が律令という法律で国を治め、人々に土地を割り当てて、税や労役を課した。
- ④ チンギス＝ハンがモンゴルを統一し、モンゴル帝国を築いた。
- ⑤ ドイツのルターが、教皇や教会の権威を否定し、宗教改革の口火を切った。

ア ①②④    イ ①③⑤    ウ ①④⑤    エ ②③④    オ ②③⑤

**【5】 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。**

医薬品を医療の目的から外れて使用したり、医薬品でない薬物を不適切な目的で使用したりすることを薬物乱用という。薬物は脳に直接作用するため、心身に大きな害を及ぼすだけでなく、強い 1 があり、乱用をやめるのは非常に困難である。

薬物乱用の開始には、本人の知識や考え方、心理状態などの個人の要因が関係するほか、周囲の人からの誘いやインターネット上の情報などの 2 的環境の要因も関係する。

**問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。**

- ア 1－依存性      2－社会
- イ 1－依存性      2－物理
- ウ 1－依存性      2－身体
- エ 1－自立性      2－社会
- オ 1－自立性      2－物理

**問2 下線部に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。**

- ① 平成29年告示の「中学校学習指導要領」では、薬物乱用防止教室は、学校保健計画に位置付け、地域の実情に応じて開催に努めることとした。
- ② 薬物をやめても、脳には薬物の記憶が残るため、ストレスなどによって突然、幻覚や妄想などの病的な精神症状が再発することがあり、これをバーンアウトという。
- ③ 乱用される薬物には、覚せい剤、大麻、向精神薬や有機溶剤などがあり、1回の使用でも乱用にあたる。
- ④ スポーツにおいて、禁止薬物の使用などの不正によって競技力を向上させ、競技の公平性を損なう行為をドーピングという。
- ⑤ 薬物については、有害性や悪影響が深刻であるため、乱用だけでなく、密売・密輸を防ぐために法律が整備されたり、取り締まりが強化されたりしている。

- ア ①②④      イ ①②⑤      ウ ①③④      エ ②③⑤      オ ③④⑤

【6】 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

水中に入っている物体には、水面からの深さが深いほど大きな圧力がはたらいている。この水による圧力を水圧といい、あらゆる向きの面に対して 1 にはたらく。

また、この物体をつるしたばねばかりが示す値は、空気中にあるときよりも 2。これは、水中でも重力の大きさは変わらないが、重力と反対向きに浮力という力がはたらいているためである。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- ア 1ー上向き      2ー小さい
- イ 1ー垂直        2ー小さい
- ウ 1ー下向き      2ー小さい
- エ 1ー垂直        2ー大きい
- オ 1ー上向き      2ー大きい

問2 下線部に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。「水中に入っている」とは、物体の一部または全体が水中にある状態をいう。

- ① 物体が浮くかどうかは、その物体と水の密度を比べることで確かめることができる。
- ② 水中に入っている物体の質量が大きいほど、浮力は大きい。
- ③ 物体の全体が水中に入っているとき、浮力の大きさは深さによって変わる。
- ④ 物体が水面に浮いて静止しているとき、重力と浮力の大きさはつり合っている。
- ⑤ 水中に入っている物体の体積が大きいほど、浮力は大きい。

- ア ①②③    イ ①③⑤    ウ ①④⑤    エ ②③④    オ ②④⑤

【7】 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

資金が不足している人と余裕がある人の間でお金を融通することを金融といい、家計の 1 など、資金を必要としている企業や家計へと融通して、生産活動や消費活動が滞りなく行われるようにしている。

金融には、企業などが株式や債券を発行することで出資者から借りる方法のほか、銀行などの金融機関を通じて資金を集める 2 という方法があり、金融機関や企業間の取引は世界中に広がっている。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる語句の組合せを選びなさい。

- |   |        |        |
|---|--------|--------|
| ア | 1ー貯蓄   | 2ー直接金融 |
| イ | 1ーサービス | 2ー直接金融 |
| ウ | 1ー商品   | 2ー間接金融 |
| エ | 1ーサービス | 2ー間接金融 |
| オ | 1ー貯蓄   | 2ー間接金融 |

問2 下線部に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 日本銀行は、物価の変動を抑え、景気の変動を安定化させるため、一般の銀行との間で国債などを売買する金融政策を行っている。
- ② 外貨に対し円の価値が上がることを円安、逆に下がることを円高といい、円安や円高になるのは、商品の価格の変化と同様に、需要と供給の関係で決まる。
- ③ 1980年代以降、国際的な金融が停滞し、大規模な金額のやりとりが国境を越えて行われなくなったことが、1997年のアジア通貨危機や、2008年の世界金融危機を引き起こした。
- ④ 近年では、スマートフォンを利用した決済などの新しい金融テクノロジーが進み、貨幣や支払いの在り方が多様化している。
- ⑤ 紙幣や硬貨といった現金通貨のほか、銀行にある預金そのものも通貨の一つであり、企業同士の取引では、主に預金通貨が使われている。

- ア ①②③    イ ①②④    ウ ①④⑤    エ ②③⑤    オ ③④⑤

【8】次の楽譜は、雅楽「越天楽」の旋律に歌詞が付けられた「越天楽今様」である。問1、問2に答えなさい。

は る の やよいの あけぼの に よもの やまべを みわたせ ば

は な ざ か り か も し ら く も の ー ー か か ら め み ね こ そ な か り け れ

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切なものの組合せを選びなさい。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ア 1 - $\frac{3}{4}$ | 2 - |
| イ 1 - $\frac{3}{4}$ | 2 - |
| ウ 1 - $\frac{4}{4}$ | 2 - |
| エ 1 - $\frac{4}{4}$ | 2 - |
| オ 1 - $\frac{4}{4}$ | 2 - |

問2 雅楽に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 雅楽は、約1300年の歴史をもつ日本の古典芸能である。
- ② 雅楽は、世界最古のオーケストラとも呼ばれ、指揮者が存在しない。
- ③ 宮内庁楽部の演奏する雅楽は、ユネスコ無形文化遺産保護条約に記載されている。
- ④ 雅楽は、観阿弥、世阿弥親子によって大成された伝統的な芸術の一つである。
- ⑤ 雅楽の種類のうち、「管弦」は舞を伴って演奏される。

ア ①②③    イ ①②④    ウ ①③⑤    エ ②④⑤    オ ③④⑤



【9】 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

On a September day in 1991, two Germans were climbing the mountains between Austria and Italy. High up on a mountain pass, they found the body of a man lying on the ice. At that height (3,200 meters), the ice is usually permanent. But 1991 had been an especially warm year. The mountain ice had 1 more than usual and so the body had come to the surface.

It was lying face downward. The skeleton was in perfect condition, except for a large wound in the head. There was still skin on the bones and the remains of some clothes. The hands were still holding the wooden handle of an ax. On the feet there were very simple leather and cloth boots. Nearby was a pair of gloves made of tree bark and a holder for arrows.

Who was this man? How and when had he died? Everybody had a 2 answer to these questions. The mountain climbers who had found the body said it seemed thousands of years old. But others thought that it might be from this century. Perhaps it was the body of a soldier who died in World War I. In fact, several World War I soldiers had already been found in that area of the mountains. On the other hand, a Swiss woman believed it might be her father. He had died in those mountains 20 years before and his body had never been found. When Italian and Austrian scientists heard about the discovery they rushed to the mountaintop. The body couldn't possibly be the Swiss woman's father, they said. The boots, the gloves, and the ax were clearly from further back in the past. For the same reason, they said it couldn't be a World War I soldier. It had to be at least several centuries old, they said, maybe even five centuries. It could have been one of the soldiers in the army of Frederick, Duke of Austria.

Before they could be sure about this guess, however, the scientists needed more data. They needed to bring the body down the mountain so they could study it in their laboratories. The question was, whom did it belong to? It was lying almost exactly on the border between Italy and Austria. Naturally, both countries wanted the frozen man for their laboratories and their museums. For two days, the body lay there in the mountains while diplomats argued. Finally, they decided that it lay on Austrian ground.

By that time the body was partly unfrozen and somewhat damaged.

When the Austrian scientists examined the body more closely, they changed their minds. They did not know yet how he had died, but they did know when : in about 2,700 B.C. This was a very important discovery, they said. It would teach them a great deal about this very distant period of European history. From the clothes and tools they could learn about how men lived in those times.

(“Frozen Man ” (林功『アメリカの中学教科書で英語を学ぶ』所収) より)

permanent…永久不変の      skeleton…骨格      ax…斧

soldier…軍人      diplomat…外交官

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

ア 1－frozen      2－same

イ 1－frozen      2－different

ウ 1－freezing      2－different

エ 1－melted      2－different

オ 1－melted      2－same

問2 この文章の内容として適切なものの組合せを選びなさい。

- ① オーストリア人とイタリア人の登山家が、凍った男を最初に発見した。
- ② 凍った男の手には斧の木の柄、足には革と布のブーツが残っていた。
- ③ スイス人の女性は、凍った男が20年前に亡くなった自分の父親ではないかと考えた。
- ④ 外交官たちは、凍った男がどちらの国のものかを議論した。
- ⑤ オーストリアの科学者たちは、凍った男の死因を解明した。

ア ①②④      イ ①②⑤      ウ ①③⑤      エ ②③④      オ ③④⑤

【10】次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

太陽系は、太陽とそのまわりを公転し太陽からの光を反射して光る惑星や小惑星、太陽系外縁天体などからなる。太陽から最も離れた惑星である 1 と太陽との距離は、地球と太陽の距離の約30倍である。

また、太陽系の惑星は、主に岩石からできている地球型惑星と主に気体からできている木星型惑星の二つに分けられる。惑星のまわりに伴う 2 は、地球型惑星には、地球に一つと火星に二つしかないが、木星型惑星には多数ある。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- ア 1－天王星      2－衛星
- イ 1－海王星      2－衛星
- ウ 1－冥王星      2－衛星
- エ 1－海王星      2－彗星
- オ 1－冥王星      2－彗星

問2 下線部に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 水星は、厚い硫酸の雲と二酸化炭素の大気に覆われており、常に表面温度が高温である。
- ② 火星は地球のすぐ外側を公転している惑星で、直径は地球の約2倍である。
- ③ 木星は太陽系最大の惑星で、主成分は水素とヘリウムであり、縞模様やうずが見られる。
- ④ 土星は氷や岩石の粒でできた巨大な環をもつ惑星である。
- ⑤ 地球は、太陽系で唯一表面に液体の水がある惑星で、多様な生物が存在している。

- ア ①②③    イ ①②④    ウ ①③⑤    エ ②④⑤    オ ③④⑤

【11】次の文は、「改正教育公務員特例法に基づく公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針の改正等について（通知）」（令和4年 文部科学省）の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

（前略）

このような社会的変化、学びの環境の変化を受け、令和の日本型学校教育を実現する「新たな教師の学びの姿」として、1を通じて探究心を持ちつつ主体的に学び続けること、一人一人の教師の個性に即した2の提供、校内研修等の教師同士の学び合いなどを通じた協働的な学びの機会確保が重要となる。

こうした新たな教師の学びを実現するとともに、また、改正教特法によって制度化された公立の小学校等の校長及び教員の任命権者等による研修等に関する記録の作成及び資質の向上に関する指導助言等の仕組みを適正に運用するため、公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針の改正、同指針に基づく研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関するガイドラインの策定等を行うものである。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- ア 1ー教職生涯      2ー研修プログラム
- イ 1ー教職生涯      2ー個別最適な学び
- ウ 1ー教職生涯      2ー多様な働き方
- エ 1ー勤務時間      2ー研修プログラム
- オ 1ー勤務時間      2ー個別最適な学び

問2 下線部に関する内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 教師に共通的に求められる資質能力を、教職に必要な素養、学習指導、生徒指導、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応、ICTや情報・教育データの利活用の五つの柱で再整理したこと。
- ② 新たな教師の学びを実現していくための仕組みとして、研修等に関する記録を活用した資質の向上に関する指導助言等について、その基本的な考え方を明記したこと。
- ③ 授業に支障のない限り、本属長の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行わなければならないと明記したこと。
- ④ 任命権者は、指導が不適切であると認定した教師等に対して、当該指導の改善を図るために必要な事項に関する研修を実施しなければならないと新たに明記したこと。
- ⑤ 各学校の課題に対応した協働的な学びを学校組織全体で行い、その成果を教職員間で共有することにより、効果的な学校教育活動に繋げるよう、お互いの授業を参観し合い、批評し合うことも含め、校内研修を活性化させることを明記したこと。

- ア ①②⑤      イ ①③④      ウ ①③⑤      エ ②③④      オ ②④⑤

【12】次の文は、「児童生徒の教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり～（報告）」（平成29年1月 教育相談等に関する調査研究協力者会議）の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

（前略）関係者が情報を共有し、チームとして取り組むため、既存の校内組織を活用するなどして、早期から組織として気になる事例を洗い出し検討するための会議（会議）を定期的に実施し、解決すべき問題又は課題のある事案については、必ず支援・対応策を検討するためのケース会議を実施することが必要である。

（中略）組織的な連携・支援体制を維持するためには、学校内に、児童生徒の状況や学校外の関係機関との役割分担、スクールカウンセラー（以下「SC」という。）やスクールソーシャルワーカー（以下「SSW」という。）の役割を十分に理解し、初動段階のアセスメントや関係者への情報伝達等を行う役の教職員の存在が必要である。（後略）

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- |   |           |            |
|---|-----------|------------|
| ア | 1－スクリーニング | 2－スクールロイヤー |
| イ | 1－モニタリング  | 2－スーパーバイザー |
| ウ | 1－スクリーニング | 2－コーディネーター |
| エ | 1－モニタリング  | 2－コーディネーター |
| オ | 1－スクリーニング | 2－スーパーバイザー |

問2 「児童生徒の教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり～（報告）」（平成29年1月 教育相談等に関する調査研究協力者会議）に示されている「学校における教育相談体制の在り方」の内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 不登校、いじめ等を認知した場合、関係者が把握している情報を共有し、何を目標に、誰を中心に、誰が何をするのかを明確にした上で、ケース会議を慎重に開催する。
- ② 児童生徒の課題を少しでも早く発見し、課題が複雑化、深刻化する前に指導・対応できるように、学級担任及びホームルーム担任には児童生徒を観察する力が必要である。
- ③ 個人情報共有においては、児童生徒の発達を組織的・計画的・継続的に支援していくために、児童生徒本人や保護者の同意を得る必要はない。
- ④ 養護教諭は、課題を抱えている児童生徒と関わる機会が多いため、健康相談等を通じ、課題の早期発見及び対応に努めることが重要である。
- ⑤ SC及びSSWの活用と理解が進むことで、学校の支援に専門性が加わり、教職員の業務負担の軽減が図られると共に、教職員が問題を一人で抱えることの防止につながる。

- ア ①②③    イ ①③⑤    ウ ①④⑤    エ ②③④    オ ②④⑤

【13】次の表は、障害のある子供の教育に関する制度の改正について年代順にまとめたものである。これを見て、問1、問2に答えなさい。ただし、条約及び法律の名称については、国の機関で 사용되는略称による。

|                     |                  |                                                                                |
|---------------------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 2006年12月<br>(平成18年) | 国連総会において<br>1 採択 | 全ての障害者によるあらゆる人権及び基本的自由の完全かつ平等な享有を促進し、保護し、及び確保すること並びに障害者の固有の尊厳の尊重を促進することを目的とした。 |
| 2007年4月<br>(平成19年)  | 改正学校教育法<br>施行    | 特別な場で教育を行う「特殊教育」から、子供一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う「 <u>特別支援教育</u> 」へ転換が行われた。  |
| 2011年8月<br>(平成23年)  | 改正障害者基本法<br>施行   | 国及び地方公共団体は、可能な限り障害者である児童及び生徒が、障害者でない児童及び生徒とともに教育を受けられるよう配慮しなければならないこととした。      |
| 2016年4月<br>(平成28年)  | 2 施行             | 「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」及び「環境の整備」を行うこととした。                                   |

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- ア 1ー障害者権利条約 2ー障害者総合支援法  
イ 1ー児童の権利条約 2ー障害者差別解消法  
ウ 1ー障害者権利条約 2ー障害者自立支援法  
エ 1ー児童の権利条約 2ー障害者総合支援法  
オ 1ー障害者権利条約 2ー障害者差別解消法

問2 下線部に関して、「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議 報告」(令和3年1月)に示されている内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 障害のある子供と障害のない子供が、年間を通じて計画的・継続的に共に学ぶ活動の更なる拡充を図る。  
② 障害のある子供の教育的ニーズの変化に応じ、学びの場を変えられるよう、多様な学びの場間で教育課程が円滑に接続することによる学びの連続性の実現を図る。  
③ 学びの場の判断については、教育支援委員会を起点に様々な関係者が多角的、客観的に検討することとし、その際、学校の意向を第一に尊重する。  
④ 高等学校においては、発達障害を含む障害のある生徒の入学者数が特定できないことから、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成・活用する必要はない。  
⑤ 全ての教師には、障害の特性等に関する理解と指導方法を工夫できる力や、特別支援教育に関

する基礎的な知識、合理的配慮に対する理解等が必要である。

ア ①②③    イ ①②⑤    ウ ①③④    エ ②④⑤    オ ③④⑤

【14】次の文は、「小学校学習指導要領」（平成29年 文部科学省）第1章「総則」の「第1 小学校教育の基本と教育課程の役割」の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

2（前略）

（1）基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、1を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、児童の発達段階を考慮して、児童の2など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するよう配慮すること。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- |   |                 |        |
|---|-----------------|--------|
| ア | 1ー主体的に学習に取り組む態度 | 2ー言語活動 |
| イ | 1ー主体的に学習に取り組む態度 | 2ー体験活動 |
| ウ | 1ー主体的に学習に取り組む態度 | 2ー表現活動 |
| エ | 1ー豊かな心や創造性      | 2ー言語活動 |
| オ | 1ー豊かな心や創造性      | 2ー体験活動 |

問2 学習指導要領に基づいた児童生徒の資質・能力の育成に向けてまとめられた「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」（令和3年3月 文部科学省初等中等教育局教育課程課）に示されている内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 「指導の個別化」は一定の目標を全ての児童生徒が達成することを目指し、個々の児童生徒に応じて異なる方法等で学習を進めることである。
- ② 補充的・発展的な学習を行う際には、各学校の判断により、個々の児童生徒の実態等に応じて学習指導要領に示していない内容を加えて指導してはならない。
- ③ 児童生徒自身がICTを「文房具」として自由な発想で活用できるよう環境を整え、授業をデザインすることが求められる。
- ④ 学校と家庭や地域、企業等とが育成を図る資質・能力やその重要性などについて認識の共有を図ることが重要である。
- ⑤ 「協働的な学び」は、安心して学べる居場所としての同一学年・学級の児童生徒同士の中だけで行われる学び合いのことである。

ア ①②③    イ ①②⑤    ウ ①③④    エ ②④⑤    オ ③④⑤

【15】 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

① の創始者であるスイスの精神科医ユング（1875～1961）は、無意識の創造性を重視し、人間の心は意識と無意識の相補作用による自動調節的体系であると主張した。そして、意識の中心点を自我、人間の心の中心を自己とし、その心の外的な現れを② と呼び、それは自己の適応的な人格の仮面であるとした。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切なものの組合せを選びなさい。

- |   |           |        |
|---|-----------|--------|
| ア | 1ー分析心理学   | 2ーリビドー |
| イ | 1ー分析心理学   | 2ーペルソナ |
| ウ | 1ー分析心理学   | 2ーラポール |
| エ | 1ー行動主義心理学 | 2ーリビドー |
| オ | 1ー行動主義心理学 | 2ーペルソナ |

問2 下線部に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① ユング派の心理療法は、夢・箱庭・絵画などのイメージを積極的に取り扱い、現代の心理療法に大きな影響を与えている。
- ② ユングは、意識には内向と外向の二つの態度と、思考、感情、感覚、直観の四つの機能があるとし、それらを組合せた八つの性格類型を考案した。
- ③ ユングは、一定の情動を中心に集めた精神的諸要素からなる複合体であるコンプレックスを、意識されたものにも無意識のものにも用いた。
- ④ ユングは、心理療法の土台となる基本的な考え方として、実在主義、独自性、全体性、社会性、現象論、目的論、機能主義、実践主義の八つを示している。
- ⑤ ユングが生活的概念と科学的概念の発達史の研究から導き出した「発達の最近接領域」の理論は、教授と発達との相互関係の問題の解明に大きく寄与した。

- ア ①②③    イ ①②⑤    ウ ①③④    エ ②④⑤    オ ③④⑤



【16】次の文は、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）」（平成31年 中央教育審議会）の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

（前略）教師のこれまでの働き方を見直し、教師が我が国の学校教育の蓄積と向かい合って自らの 1 とともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して 2 を行うことができるようになることが学校における働き方改革の目的であり、そのことを常に原点としながら改革を進めていく必要がある。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- ア 1ー健康を保持する      2ー効果的な教育活動
- イ 1ー健康を保持する      2ー計画的な進路指導
- ウ 1ー授業を磨く          2ー効果的な教育活動
- エ 1ー授業を磨く          2ー計画的な進路指導
- オ 1ー士気を高める        2ー効果的な教育活動

問2 下線部に関して、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）」（平成31年 中央教育審議会）に示されている内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 休み時間における対応は、教師に児童生徒の事故等を防止する措置を講ずる注意義務等が生じるため、教師以外の学校職員がその業務を担うことは適切ではない。
- ② 登下校時の見守り活動の日常的・直接的な実施は必ずしも教師が担わなければならないものではない。
- ③ 給食指導については、学習指導要領の特別活動として位置付けられ、その解説においても、学級担任の教師による指導が原則であると記載されている。
- ④ 定期テストの問題作成・採点、通知表・調査書・指導要録の作成等の学習評価、それに伴う成績処理については、スクール・サポート・スタッフ等を参画させるべきである。
- ⑤ 校内清掃は校内で行われるものではあるが、児童生徒が行う清掃の見守りは、教員免許を必ずしも必要とする業務ではない。

- ア ①②③    イ ①②④    ウ ①④⑤    エ ②③⑤    オ ③④⑤

【17】次の文は、「いじめ防止対策推進法」（平成25年 法律第71号）の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

第1条 この法律は、いじめが、いじめを受けた児童等の教育を受ける権利を著しく侵害し、その 1 及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであることに鑑み、児童等の 2 を保持するため、いじめの防止等（いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処をいう。以下同じ。）のための対策に関し、基本理念を定め、（中略）いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とする。

第11条 文部科学大臣は、関係行政機関の長と連携協力して、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針（以下「いじめ防止基本方針」という。）を定めるものとする。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる語句の組合せを選びなさい。

- ア 1ー心身の健全な成長 2ー安全
- イ 1ー心身の健全な成長 2ー能力
- ウ 1ー心身の健全な成長 2ー尊厳
- エ 1ー就学機会の確保 2ー安全
- オ 1ー就学機会の確保 2ー尊厳

問2 下線部に関して、「いじめの防止等のための基本的な方針」（平成25年10月11日 文部科学大臣 決定 最終改定 平成29年3月14日）に示されている内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① いじめは、どの子供にも、どの学校でも起こりうることを踏まえ、全ての児童生徒を対象としたいじめの未然防止の観点が必要である。
- ② やむを得ない事由のため、就学困難と認められる子供の保護者に対しては、学校の設置者は、その義務を猶予又は免除することができる。
- ③ 学校の設置者は、いじめを早期に発見するため、当該学校に在籍する児童生徒に対する定期的なアンケート調査、個人面談、その他の必要な措置を講ずる。
- ④ 各学校は、策定した学校いじめ防止基本方針の内容を、必ず入学時・各年度の開始時に児童生徒、保護者、関係機関等に説明する。
- ⑤ 学校評価において、いじめの問題を取り扱うに当たっては、取組の達成状況を把握することが困難なことから、いじめの有無やその多寡のみを評価する。

- ア ①②③    イ ①②⑤    ウ ①③④    エ ②④⑤    オ ③④⑤

【18】次の文は、「中学校学習指導要領」（平成29年 文部科学省）第1章「総則」の「第1 中学校教育の基本と教育課程の役割」の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

4 各学校においては、生徒や学校、1の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を2してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- ア 1ー学習状況      2ー評価
- イ 1ー学習状況      2ー調査
- ウ 1ー地域            2ー把握
- エ 1ー地域            2ー評価
- オ 1ー地域            2ー調査

問2 下線部に関して、「中学校学習指導要領解説総則編」（平成29年 文部科学省）第1章に示されている内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 教育課程の編成に当たっては、育成を目指す資質・能力を指導のねらいとして明確に設定していくことが求められていることに留意が必要である。
- ② カリキュラム・マネジメントを効果的に進めるためには、何を目標として教育活動の質の向上を図っていくのかを明確にすることが重要である。
- ③ 教育課程の実施に当たっては、各学校の実態を考慮することなく、人的又は物的な体制を一律に確保することが必要である。
- ④ 各学校の教育課程は、校長、副校長や教頭が、教育課程に関する研究を重ね、創意工夫を加えて編成や改善を図っていくことが重要である。
- ⑤ 各学校においては、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を選択し、生徒の生活時間と教育の内容との効果的な組合せを考えながら、年間や学期、月、週ごとの授業時数を適切に定めることが求められる。

- ア ①②④    イ ①②⑤    ウ ①③⑤    エ ②③④    オ ③④⑤

【19】次の表は、道徳教育及び道徳の時間に関する小学校学習指導要領の主な改訂や一部改正の内容について年代順にまとめたものである。これを見て、問1、問2に答えなさい。

|                      |                                                                    |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 昭和33年（1958年）<br>改訂   | 道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行うことを明示                                          |
| 昭和43年（1968年）<br>改訂   | 道徳の時間において、各教科及び <input type="text" value="1"/> における道徳教育との関連を重視     |
| 平成元年（1989年）<br>改訂    | 内容項目を四つの視点から再構成                                                    |
| 平成20年（2008年）<br>改訂   | 道徳の時間が道徳教育の要であることの明確化                                              |
| 平成27年（2015年）<br>一部改正 | 「特別の教科 道徳」に、 <input type="text" value="2"/> を導入することなどを基本的な考え方として改正 |

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- ア 1ー特別活動                      2ー検定教科書
- イ 1ー特別活動                      2ー観点別評価
- ウ 1ー特別活動                      2ー専科教員
- エ 1ー総合的な学習の時間        2ー検定教科書
- オ 1ー総合的な学習の時間        2ー観点別評価

問2 表に関する内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 昭和33年の改訂では、道徳教育の徹底を図るため、道徳の時間を、毎学年、週1単位時間以上にわたって行うように計画することとした。
- ② 昭和43年の改訂では、「道徳教育の目標」と「道徳の時間の目標」の性格と役割が一層明確になるよう示された。
- ③ 平成元年の改訂では、完全学校週5日制が実施されることに伴い、各学年の道徳の時間の授業時数について改正を行った。
- ④ 平成20年の改訂では、道徳教育推進教師について、道徳教育の指導計画の作成に関することや、道徳の時間の充実と指導体制に関すること等の役割が例示された。

- ⑤ 平成27年の一部改正では、道徳の時間を「特別の教科 道徳」として位置付け、学校における道徳教育は、「特別の教科 道徳」のみで指導することが示された。

ア ①②③    イ ①②④    ウ ①④⑤    エ ②③⑤    オ ③④⑤

【20】次の文は、「生徒指導提要」（令和4年 文部科学省）の第3章「チーム学校による生徒指導体制」の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

（前略）日本は、諸外国に比して、学校内の専門職として教員が占める割合が 1 国です。そのことによる利点も多くありますが、児童生徒の抱える問題や課題が 2 しているなかで、教員の専門性をもって全ての問題や課題に対応することが、児童生徒の最善の利益の保障や達成につながるとは必ずしも言えない状況になっています。したがって、多様な専門職、あるいは、専門職という枠組みにとられない地域の様々な「思いやりのある大人」が、教員とともに学校内で連携・協働する体制を形作ることが求められています。（後略）

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- ア 1ー高い 2ー複雑化・多様化
- イ 1ー高い 2ー明確化・具体化
- ウ 1ー高い 2ー単純化・画一化
- エ 1ー低い 2ー複雑化・多様化
- オ 1ー低い 2ー明確化・具体化

問2 下線部について、「生徒指導提要」（令和4年 文部科学省）に示されている内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① トップダウンのピラミッド型組織により、情報の収集と伝達を円滑に進めるためのネットワークを学校の内外につくることが求められる。
- ② 同僚の教職員間で継続的に振り返りを行うことで自身の認知や行動の特性を自覚することができ、幅広い他者との協働が可能になる。
- ③ 一人で仕事をこなさなくてはという思い込みを捨てて組織に関わることで、児童生徒理解も対応も柔軟できめ細かいものになる。
- ④ 学校と警察等との連携は、刑罰法令に抵触する行為に対処する困難課題対応的生徒指導上の連携にとどまらず、不良行為に対する課題予防的生徒指導上の連携も挙げられる。
- ⑤ 生徒指導の方針・基準については、児童生徒や保護者、地域の人々の合意形成を図ることなく、児童生徒の実態をよく知る学校がその責任において作成する。

- ア ①②③    イ ①②⑤    ウ ①④⑤    エ ②③④    オ ③④⑤

県別対策 北海道・札幌市  
2023年実施 本試験問題

【正答番号一覧】

| 問題番号 |    | 正答番号 | 問題番号 |    | 正答番号 |
|------|----|------|------|----|------|
| 【1】  | 問1 | オ    | 【11】 | 問1 | イ    |
|      | 問2 | イ    |      | 問2 | ア    |
| 【2】  | 問1 | エ    | 【12】 | 問1 | ウ    |
|      | 問2 | オ    |      | 問2 | オ    |
| 【3】  | 問1 | オ    | 【13】 | 問1 | オ    |
|      | 問2 | エ    |      | 問2 | イ    |
| 【4】  | 問1 | ウ    | 【14】 | 問1 | ア    |
|      | 問2 | ア    |      | 問2 | ウ    |
| 【5】  | 問1 | ア    | 【15】 | 問1 | イ    |
|      | 問2 | オ    |      | 問2 | ア    |
| 【6】  | 問1 | イ    | 【16】 | 問1 | ウ    |
|      | 問2 | ウ    |      | 問2 | エ    |
| 【7】  | 問1 | オ    | 【17】 | 問1 | ウ    |
|      | 問2 | ウ    |      | 問2 | ウ    |
| 【8】  | 問1 | エ    | 【18】 | 問1 | エ    |
|      | 問2 | ア    |      | 問2 | イ    |
| 【9】  | 問1 | エ    | 【19】 | 問1 | ア    |
|      | 問2 | エ    |      | 問2 | イ    |
| 【10】 | 問1 | イ    | 【20】 | 問1 | ア    |
|      | 問2 | オ    |      | 問2 | エ    |

## 北海道・札幌市 論文試験（2次）

|      |                                                                                                                                                                                                                              |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 論文課題 | <p>急激に変化する時代の中で、学校教育における教師のあるべき姿として、「環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている」ことや、「子供一人一人の学びを最大限に引き出すとともに、子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力を備えている」ことなどが求められています。</p> <p>このことについて、あなたはどのように考え、社会人として培った経験や専門性を生かし、教師としてどのように努力しますか、具体的に述べなさい。</p> |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 注意

検査の時間は60分、800字以内です。